り、対応マニュアル等あったと思うが、対応状況と反省点を尋ねる。

市長　備中県民局で対応緊急会議が開催された。同時に、笠岡市法定家畜伝染病現地対策本部員緊急連絡会議を招集して対応した。人員体制等あり方、消毒ポイント等で幾つかの問題点も生じた。

議員　風評被害に対する状況と対応策を尋ねる。

市長　自動販売機の直売では数日間売り上げが半減したと伺っている。各種イベント会場等での配布・掲示などを行った。風評被害への補償はない。

里海づくり・広域連携で漁場再生を

議員　工業排水規制強化等により、瀬戸内海の環境は非常に良くなっている。しかし、浄化が進みすぎ、貧栄養化が起こっている。豊かな漁場に戻す解決策はないか。また、里海づくりに取り組んではどうか。

市長　水産資源生物多様性等に不可欠な栄養塩が激減している。瀬戸内海環境保全基本計画が改定され、水産資源の回復により重点を置いた計画となっている。広域的、発展的な取り組みを検討協議し、原因究明等を国、県等へ要請していく。また、地域活性化の面からも、関係団体の協力を得ながら、里海づくりを研究し、取り組んでいく。

議員　瀬戸内海の潮の流れは、福山市と笠岡市ではほとんど変わらない。広域連携の取り組みはないか。

建設産業部長　福山市の漁業関係者からの要望で、福山市下水道で取り組みをされていることはつかんでいる。笠岡市でも、要望を受理すれば県・国へ働きかける。

仁科文秀議員

笠岡諸島の観光の起点となる駅周辺の整備を

議員　笠岡の観光に欠かせない笠岡諸島への起点となる、JR笠岡駅及びその周辺の整備は進めるのか。

市長　笠岡駅南改札口の設置、乗降口と駅南広場整備、住吉港との連絡道路整備の検討をしており、整備案作成後、JR西日本と協議を行いたい。ただし、平成30年以降となる。

リサイクル率目標引上げ・ごみ袋有料化のねらいは

議員　現在約21％で、ここ数年20％前半を推移しているリサイクル率であるが、目標を平成29年度には一気に33％まで引き上げる。また1枚目から有料にするというが、その考えについて尋ねる。

市長　資源ごみ回収、廃品回収以外にスーパーの回収等排出方法の選択肢が増え、達成は可能と考えた。また有料化により、抑制行動が働き、しっかり分別することで資源ごみが増え、めざす循環型社会の構築につながるとの答申を受けている。

学校統廃合の今後の考え方を明確に

議員　教育論と地域論を考えたとき、将来に渡る笠岡の教育の方向性・ビジョンを示し、統合にあたって地域がどう変わっていくのか、笠岡市が何ができるのかを明確に本気で示す時ではないか。

市長　最終目標は、児童・生徒の教育環境の充実である。学校・校舎はまちづくり協議会、コミュニティ再生の場、防災拠点等とし、地域活性化を図っていただきたい。

奥野泰久議員

市民病院のこれからのあり方は

議員　今後、経営難が予測されることから、井原市等と広域で病院建設の考えはないか尋ねる。

市長　考慮すべきは平成27年度中に、策定予定の岡山県地域医療構想と考える。これは、地域の医療需要の将来推計等を活用し、医療機能の分化と連携を推進する構想である。現時点で、病院の広域化は考えていない。

北木島の魅力の積極的な発信を

議員　北木島の観光資源の把握と保存、今後の観光促進策の方針について尋ねる。

市長　笠岡諸島には特色ある観光資源等が存在する。北木島は長い歴史のある石材産地であり、大阪城の石垣等に使用された北木石がある。笠岡市無形民俗文化財に指定されている流し雛がある。また、北木ノースデザインプロジェクトを実施した。この事業は、地元石材産業の振興を目的とした。島の「もの」、「こと」、